

Ⅱ-12 まちづくりについての自由意見

1 自由意見の概要

旭川市のまちづくりについて、御意見・御提案を自由に記入してください。

(1) 記入者の内訳

アンケートの最後に、旭川市のまちづくりについての意見や提案を求めた。

回答者数1,524人のうち、519人(34.1%)が意見を記入した。

性別で見ると、男性は回答者675人のうち222人(32.9%)、女性は回答者822人のうち291人(35.4%)が意見を記入している。

年齢層別にみると、記入率は、30～39歳が49.3%と最も高く、次いで40～49歳(41.6%)、50～59歳(41.1%)の順となっている。

【記入者の内訳】(性別, 年齢層別)

年齢層	男性			女性			無回答(性別不詳)			合計		
	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)	回答者 (人)	記入者 (人)	記入率 (%)
18～19歳	8	2	25.0	9	4	44.4	1	0	0.0	18	6	33.3
20～29歳	26	10	38.5	48	16	33.3	4	2	50.0	78	28	35.9
30～39歳	50	21	42.0	85	46	54.1	1	0	0.0	136	67	49.3
40～49歳	82	30	36.6	115	52	45.2	5	2	40.0	202	84	41.6
50～59歳	110	49	44.5	135	52	38.5	3	1	33.3	248	102	41.1
60～64歳	53	22	41.5	71	25	35.2	0	0	—	124	47	37.9
65～69歳	68	11	16.2	79	19	24.1	1	0	0.0	148	30	20.3
70～74歳	95	23	24.2	104	23	22.1	2	1	50.0	201	47	23.4
75歳以上	182	54	29.7	174	53	30.5	7	0	0.0	363	107	29.5
無回答	1	0	0.0	2	1	50.0	3	0	0.0	6	1	16.7
合計	675	222	32.9	822	291	35.4	27	6	22.2	1,524	519	34.1

(2) 意見・提案の内訳

意見・提案については、一人が複数の内容を記入している場合があり、それらを項目別に集計すると、696件となった。

ただし、記入者519名のうち10名が「特になし」と回答していたため、「特になし」の回答を除いたところ、509名の記入者から686件の回答が得られた。以降、分類別の構成比は、記入者数(509)に対する意見数の割合として算出する。

分野別にみると、「産業、観光」に関することが183件(36.0%)、「都市機能、環境、安全・安心」に関することが169件(33.2%)、「子育て、保険・医療・福祉、教育・文化・スポーツ」に関することが134件(26.3%)、「まちづくり」に関することが60件(11.8%)の順となっている。

各分野で見ると、「産業、観光」の中では「(15) まちの活性化と公共交通網の充実」に関すること(122件, 24.0%)、「都市機能、環境、安全・安心」の中では「(19) 暮らしやす

い都市環境の充実」に関すること（80件，15.7%），「子育て，保険・医療・福祉，教育・文化・スポーツ」の中では「(1) 妊娠・出産・子育てに関する支援の充実」に関すること（28件，5.5%），「まちづくり」の中では「(29) 信頼に応える市政の推進」に関すること（18件，3.5%）と「(30) 効率的で効果的な行財政運営の推進」（18件，3.5%）が最も高い割合を示している。

【分野・分類の内訳】

N=509[複数回答(「無回答」，「特になし」等を除く。)]

分野	分類	意見数 (件)	構成比 (%)
子育て，保険・医療・福祉， 教育・文化・スポーツ	(1) 妊娠・出産・子育てに関する支援の充実	28	5.5
	(2) 子育て環境の充実	25	4.9
	(3) 市民の主体的な健康づくりと安心な医療の推進	6	1.2
	(4) 安全な衛生環境の確保	5	1.0
	(5) 適切な福祉サービスの提供	9	1.8
	(6) 互いに支え合う地域福祉の充実	7	1.4
	(7) 社会で自立して生きていく力を培う教育の推進	11	2.2
	(8) 安全・安心な教育環境の整備	15	2.9
	(9) 家庭や地域とともにある学校づくりの推進	3	0.6
	(10) 生涯を通じた学びの振興	6	1.2
	(11) 個性豊かな北国らしい文化の振興	5	1.0
	(12) スポーツ・レクリエーションの振興	14	2.8
小計		134	
産業，観光	(13) 魅力の活用，発信と競争力の強化	28	5.5
	(14) 地域産業の持続的発展	12	2.4
	(15) まちの活性化と公共交通網の充実	122	24.0
	(16) 四季を通じた観光の振興	18	3.5
	(17) 多様な交流と国際化の推進	3	0.6
	小計		183
都市機能，環境，安全・安心	(18) 市民生活を支える都市機能の維持	47	9.2
	(19) 暮らしやすい都市環境の充実	80	15.7
	(20) 自然共生社会の形成	6	1.2
	(21) 循環型社会の形成	8	1.6
	(22) 低炭素社会の形成	4	0.8
	(23) 危機対応力の強化	8	1.6
	(24) 交通安全と防犯体制の充実	16	3.1
	小計		169
まちづくり	(25) 市民主体のまちづくりの推進	13	2.6
	(26) 地域主体のまちづくりの推進	8	1.6
	(27) 男女共同参画社会の形成	2	0.4
	(28) 広域自治体ネットワークの強化	1	0.2
	(29) 信頼に応える市政の推進	18	3.5
	(30) 効率的で効果的な行財政運営の推進	18	3.5
	小計		60
その他	(31) その他	140	27.5
	合計	686	

2 意見・提案

意見・提案の一部を、要約などして掲載しています。

(1) 子育て、保健・医療・福祉、教育・文化・スポーツ（134件）

- ・子育て世帯に対する様々な対策を考え直してほしい。助成をしてもらっているにもかかわらず、自己負担額が多いので（妊産婦健康診査費用、出産手当金だけでは賅えない出産費など）今より助成金を上げてほしい。低所得世帯以外の世帯への金銭的な支援をしてほしい。住みやすいと感じているので、市民のためにより良いまちづくりを目指してほしい。生まれ育った旭川市で、家族と共に心地良く生活していくためにも、検討をお願いしたい。

【女性，20～29歳】

- ・高等教育のための費用がかかりすぎるため、仕事ばかりの生活になり、子どもと接する時間が取れない。低所得者ばかり優遇され、中間層が非常に苦しい生活を強いられている現状を何とかしてほしい。返済不要の奨学金の充実や、大学費用を安くしてもらえないと、子どもがなりたいたいと言っている保育士や看護師になるための学校に行かせることもできない。【女性，40～49歳】

- ・体育館、公民館等の一般開放をもっと積極的に行ってほしい。【男性，30～39歳】

(2) 産業、観光（183件）

- ・旭川の道の駅で地元の採りたて野菜等を販売するなど、道の駅での行事を季節問わずにできたらよいと思う。ほかのまちは道の駅を目当てに観光する人が増えているので、旭川もそんなまちにして観光客を増やしてほしい。【女性，50～59歳】

- ・高卒、大卒の学生達が就職を希望する会社が少ないので、若い人達が旭川に残らず、札幌、本州に流れてしまい、まちに活気がなく、将来性が見込まれない。企業誘致に力を入れて、仕事場を多くつくってほしい。【女性，75歳以上】

- ・買物公園の再活性化。「食べマルシェ」のみならず、朝市やオホーツク、日本海、太平洋等の海産市、夏場のビール園など、特に5条通り以北8条間の利用と活性化が必要と思われる。【男性，75歳以上】

- ・旭川に若者を呼び込み活性化させるために、イベントやフェスを開催してほしい。旭川の素晴らしい農作物もあるはず。「旭川に行かないと！」と思える、遊びに行けたり、体験できるような、魅力的なアミューズメント施設などがあると、もっと旭川が活性化すると思う。難しいと思うが、若者を呼び込むことが大事だと思う。【女性， 30～39歳】

(3) 都市機能，環境，安全・安心（169件）

- ・公園の整備を早急に行ってほしい。危険を示すロープが貼られたままでは、地域で子育てをする場所や機会を失っていくと思う。大きな施設ばかりではなく、地域の公園も大事にしてほしい。【女性， 30～39歳】
- ・冬の除排雪が以前よりは良いが、まだ不十分である。（この作業が冬道の車の運転，子ども達の通学路の整備につながり，子ども達からは毎年危ない，歩く道が細すぎて車にひかれそうになったと何度も聞く。）除排雪が交通事故防止の基本だと思うので，交通安全や子ども達の通学路確保のため，12月から3月は毎月排雪してはどうか。【男性， 40～49歳】
- ・脱炭素化の観点から，市街地の整備には緑地を積極的に取り入れてほしい。ごみの正しい捨て方や削減について住民意識を高くするため，SNSなどでも情報提供をしてほしい。【女性， 30～39歳】
- ・災害が起こった後の原因調査の結果を迅速に公表し，その対応も迅速にホームページに公表してほしい。【男性， 75歳以上】

(4) まちづくり（60件）

- ・20歳を祝う会のことについて知りたかったので市のホームページを見たが，少し見つけにくかった。また，SNSなどを使う機会も多いが，旭川市のSNSを見かけることが少ないので，SNSなどでも色々な情報を見られるとよいと思う。【女性， 18～19歳】
- ・高校生など若者の意見を聞き，行事などを実行させ，行政がその支援に当たるようにすると，若者が自信を持って旭川に住み続けるようになり，都会へ憧れて出て行く人が少なくなるのではないかと思う。市役所の一角に若者が集まり，気楽に話し合える場所など作ってはどうか。【男性， 70～74歳】

- ・誰でも参加できる同じ趣味の人で集まれるサークルがあれば、もっと地域に活気が生まれると思う。また、サークルがあれば、新たに引っ越してきた人もコミュニケーションがとりやすくなり、安心して過ごせると考える。【女性， 20～29歳】